

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104 - 163	小学校	体育	保健	第5・6学年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
224・学研	保健・511	新・みんなの保健5・6年		

## 1 編修の基本方針

### 生きる力、自ら学び、自ら考える力を育てる

#### ▶積極的な健康観、ヘルスプロモーションを重視

一人一人の夢や希望をかなえる土台となるのが健康です。心も体も健康であるためには、一人一人の生活だけでなく、周りの人や、環境や社会も、健康によいものに変えていく必要があります。

#### ▶予測困難な時代に求められる資質・能力の育成

児童が生活している「いま」と「これから」は、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新、自然災害や世界規模で拡大する新たな感染症の発生など、予測困難な時代です。これからの時代の保健においては、助け合い、支え合って、すべての人が健康に生きていける社会をつくっていく資質・能力の育成が求められています。

#### ▶ICTの活用と変化している学びに対応

また、学校教育におけるICT活用の進展とともに、「学び」も大きく変わってきています。児童一人一人の特性を生かしつつ、一緒に学ぶ仲間や地域の人などと豊かにコミュニケーションをとり、協働しながら、保健の見方・考え方を生かし、さまざまな意見や情報を組み合わせたりまとめたりして、よりよい学びを生み出していく。そのような学びが求められています。

このような背景と教育基本法に示された理念や教育の目標を踏まえ、主体的・対話的で深い学びの過程を通し、求められる資質・能力を育成できるよう、この教科書を編修しました。



## この教科書の特徴

積極的な健康観、  
ヘルスプロモーション  
を重視して

- 1 自分や周りの人を大切に思い、  
進んで健康になろうとする力がつく教科書



予測困難な時代に  
求められる資質・能力  
の育成を目指して

- 2 身近な生活と健康との関係に気づき、  
実践に生かすことができるようになる教科書



ICTの活用と  
変化している学び  
に対応して

- 3 健康についての学びを、  
自ら進めていくことができるようになる教科書



自分や周りの人を大切に思い、
進んで健康になろうとする力がつく教科書

保健の学習の大切さや世界とのつながりを感じられる



冒頭に健康と夢の関わりを明示し、保健
学習への興味・関心を高めるようにしてい
ます。

続いて、身近なことを中心とした保健の
学習や健康への実践が、周りの人や世界中
の人の健康につながっていることを見渡せ
る工夫を施しました。

なぜ保健を学ぶのかを、いつでも確かめ
られるようになっています。

▲表紙裏～p.1

Table of Contents section with illustrations and text. Includes a 'Goals' icon and a 'Table of Contents' table with page numbers for sections like '心の健康' and 'けがの防止'.

Summary page with various icons and text bubbles. Includes a section titled '保健の学習で、どんなことを学んでみたいですか。' (What do you want to learn about health?).

一人一人を
大切に感じられる構成

本文や発問、資料などで、適切に個人差
や多様性に触れ、自分自身を見つめたり、
それぞれの違いを大切に思えたりできるよ
うに構成しています。

保健の学習を通して、成長していくこと
を楽しみに思えるようになることを願って
います。

Lesson page titled 'みんなはどうしたかな?
なやみへの対処' (How did everyone deal with it?). Includes illustrations of students and text boxes with 'みなさん' and 'あなた' perspectives.

Lesson page titled '共に生きる社会に向けて' (Towards a society where we live together). Includes images of public facilities like stairs, bus stops, and elevators, and text about social inclusivity.

教科書の特徴

2

身近な生活と健康との関係に気づき、  
実践に生かすことができるようになる教科書

生活の中から課題を発見する力が育つ

日常を振り返り、健康との関係を考えるを通して、生活のしかたから健康課題を見いだしたり、よりよくする方法を考えたりすることができるようにしています。

各時間はじめに日常を振り返る場面を設け、課題をつかめるようにしています。

**1 げがの発生**

予想しよう  
給食中から、急病を疑って倒れておきます。どんな事故やけがが起きるでしょうか。

手紙しよう  
冬にインフルエンザが流行して、多くの人がかかるのはなぜでしょうか。  
① ウイルスが透気しないから。  
② 冬は運動不足になりやすいから。  
③ 寒くてかゆいから。  
④ その他

？  
学級の課題  
• どんな事故やけがが起きているのでしょうか。  
• 事故やけがは、どのようにして起こるのでしょうか。

▲ p.54

**2 病原体と病気**

手紙しよう  
冬にインフルエンザが流行して、多くの人がかかるのはなぜでしょうか。  
① ウイルスが透気しないから。  
② 冬は運動不足になりやすいから。  
③ 寒くてかゆいから。  
④ その他

？  
学級の課題  
• 病原体がもとになって起こる病気を予防するためには、どうすればよいでしょうか。

▲ p.54

**3 ふり返ろう**

あなたが「大人にならねえ」と言われたり、心が傷ついたと感じたことはありますか。  
① すくにおこなわなかったとき。  
② 約束を守ることができなかったとき。  
③ 成績に悔しさを覚えたとき。  
④ その他

？  
学級の課題  
• 心は、  
• 心は、

▲ p.89

学校でのさまざまな活動が、心の発達につながることに気づけるようにしています。

**学びがにつながる みらいへつながる**

自分の学習は楽しかったですか。特に心に残っていることはありますか。生活に活かしたいと思ったことはありますか。

① ② ③ ④ ⑤

？  
学級の課題  
• これまでの自分の学習で、自分と周りの身近な人の健康について学び、考えました。中学校では、それらをもとに、さらに詳しく学んだり、より良い健康や生活の人のことについて考えます。

▲ p.89

p.89 ▶  
巻末で、学習したことを生活につなげるような工夫をしています。中学校へのつながりも示しています。

教科書の特徴

3

健康についての学びを、  
自ら進めていくことができるようになる教科書

児童が主役となる学びを可能にする構成

1時間の学習を、3つのピース **1** **2** **3** を完成させる流れで構成しています。

児童が主体的に個別で考えたり対話的に学んだりしながら、学び方も身に付けていけるようにしています。

**この教科書の使い方と保健の学び方**

これで1時間の学習の進め方を確認してください。

？  
学級の課題  
• この1時間の学習の課題を確認しよう。

1  
ふり返り、読み取ったり、調べたりして、課題の解決に取り組みよう。自分でも疑問に感じる。

2  
話し合ったり、説明したりして、課題の解決に取り組みよう。疑問や不安のみんなと話し合ってみよう。

3  
この1時間で学習したことを活用して、課題を解決しよう。

？  
学級の課題  
• 学級の進め方について自分で考えたことや、もっと学びたいこと、な話したいことを書いておきましょう。

▲ p.5

p.5 ▶  
教科書の使い方、保健の学び方を示しています。

p.6 ▶  
さまざまな学習のしかた、調べ方などを示し、それらを選びながら学習を進められるようにしています。

タブレット端末などを使用する際の、健康・安全に配慮しています。

① 読む  
② 考える  
③ 話し合う  
④ 説明する

⑤ 調べ  
⑥ 整理する  
⑦ 伝え合う  
⑧ まとめる

？  
学級の課題  
• 学級の進め方について自分で考えたことや、もっと学びたいこと、な話したいことを書いておきましょう。

▲ p.6

デジタル教材を活用した学習を教材適所に豊富に取り入れています。

**体がリラックスすると、心もリラックスする**

① 二人一組で背中を合わせ、手を合わせる。  
② 後ろに足をつけ、手を合わせる。  
③ 前にかがんで手を合わせる。  
④ 右にわかって手を合わせる。  
⑤ 左にわかって手を合わせる。

？  
学級の課題  
• 学級の進め方について自分で考えたことや、もっと学びたいこと、な話したいことを書いておきましょう。

▲ p.6

提出にも便利な「ふり返りシート」を、各時間に用意しています。

## 2 教育基本法との対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<p>口絵 健康って、どんなこと？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●健康や安全に関する幅広い知識と教養を身に付け、健やかな身体を養う学習に取りかかりやすくするために、「健康って、どんなこと？」として児童への投げかけを示しています(第1号)。</li> <li>●健やかな身体を養うことができるように、運動やスポーツに親しむことの大切さを、豊富な写真で示しています(第1号)。</li> <li>●主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるように、健康のためには、みんなで助け合い、支え合うことが必要であることを示しています(第3号)。</li> <li>●個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができるように、一人一人が限らない能力とすてきな自分らしさを持っていることを示しています(第2号)。</li> </ul>	<p>表紙裏～ p.1</p>
<p>みんなとつながる 未来とつながる わたしたちの生活と健康</p> <p>この教科書の使い方と 保健の学び方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるように、保健の学習がSDGsと深く関連していることを示しています(第5号)。</li> <li>●幅広い知識と教養を身に付けるために、保健学習の進め方や、保健の見方・考え方を働かせることを示しています(第1号)。</li> </ul>	<p>p.2～6</p>
<p>1章 心の健康</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●豊かな情操と道徳心を培うことができるように、心の健康についての学習を通して、多くの人との関わりや体験、遊び、学習などが大切であることを本文で記述しています(第1号)。</li> <li>●個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、自他の敬愛と協力を重んずることができるように、自分のよいところを発見したり、気持ちを上手に伝えたりする活動や、いじめについて考える内容を取り上げています(第2号、第3号)。</li> </ul>	<p>p.7～24</p>
<p>2章 けがの防止</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●幅広い知識と教養を身に付けることができるように、けがが起こる原因の分析を通して、危険の予測やその回避などについて課題解決的に学習できるようにしています(第1号)。</li> <li>●生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことができるように、けがの手当の技能を身に付けることや、命を守るために必要な防犯・防災についての内容を充実させています(第4号)。</li> </ul>	<p>p.25～48</p>
<p>3章 病気の予防</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●幅広い知識と教養を身に付けることができるように、豊富な資料を基にした科学的な理解を踏まえて、さまざまな病気の予防や回復について学習できるようにしています(第1号)。</li> <li>●職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことができるように、保健に関わるさまざまな職業を掲載し、キャリア教育につながるようにしています(第2号)。</li> </ul>	<p>p.49～84</p>

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<p>しりょう 思春期の心 心と体の SOS 共に生きる社会に向けて 世界で流行した感染症の歴史 医学や保健の分野での世界的な活躍 パソコンやタブレットと健康 保健に関わる地域の施設について知ろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるように、共に生きる社会に向けて取り組まれている身の回りの工夫を取り上げています (第3号)。</li> <li>●他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるように、医学や保健の分野での世界的な活躍を取り上げています (第5号)。</li> <li>●生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことができるように、保健や防災などについて学べる保健に関わる地域の施設を取り上げています (第4号)。</li> </ul>	p.85 ~ 88
<p>学びがつながる みらいへつながる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●健康や安全に関する幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことができるように、これまでの保健の学習を振り返るとともに、中学校での学習の展望を持てるようにしています (第1号)。</li> </ul>	p.89

### 3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

#### 多様性

- イラストや図は、男子・女子などの性、外国にルーツを持つ子供などの多様性を尊重し、人数や役割、配色などが固定的なイメージでの表現とならないよう、配慮して作成しています。

#### ユニバーサルデザイン

- すべての児童が読みやすいように、紙面全体をユニバーサルデザインに配慮して作成しています。
- 学習課題や本文では、書体に「UD デジタル教科書体」を使用し、これまでよりも誰もが読みやすいように視認性を高めています。
- 特別支援教育に配慮し、レイアウトやデザイン、配色などについて、専門家による検証を行っています。

#### 情報教育

- 情報教育を重視し、効果的な内容と適切な分量になるよう、専門家の指導のもと編集・作成しています。
- ICTを活用した学習が進むことを踏まえ、ICT機器やインターネットなどを使うときの安全に配慮しています。

#### 表記・表現、紙面上の工夫

- 本文の記述に当たっては、できるだけ平易に、理解しやすい表現となるよう努めています。
- 漢字は、無用な交ぜ書きをせず、6年生で学習する漢字までを使用し、当該学年以降に配当されている漢字のすべてにふりがなを付けています。また、読みやすさ、理解しやすさに十分配慮しながら、健康や体に関する用語は漢字を使用するようにしています。
- イラスト、写真の使用に当たっては、本文の記述との適切な関連はもとより、内容・掲載点数ともに学習上の効果に十分配慮しています。
- 大きな判型 (A4判) を採用し、詳しく豊富な内容と視覚的にゆったりとした紙面を両立しています。また、書き込むことができるスペースを十分に確保しています。



# 編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号 104-163	学校 小学校	教科 体育	種目 保健	学年 第5・6学年
※発行者の 番号・略称 224・学研	※教科書の 記号・番号 保健・511	※教科書名 新・みんなの保健5・6年		

## 1 編修上特に意を用いた点や特色

### 1. 児童が主役の学びを生み出す構成

▶「主体的・対話的で深い学び」を実現する構成になっています。

学習指導要領で求められている「主体的・対話的で深い学び」を保健の学習で実現するために、各時間を見開き2つ（4ページ）で構成し、1時間の授業の流れがわかりやすい紙面にしました。

**学習の進め方**  
1時間の学習の進め方（3つのピース）を確認します。

**授業の導入**  
楽しみながら、学習の課題に気づくことができます。

**学習の課題**  
学習の課題を確認し、学習の見通しを持つことができます。

▲ p.8～9

▶★すべての時間において、3つのピースを完成させる学習の流れです。

**1** 比べたり、確かめたり、調べたりするなどして、課題の解決に取り組みます。  
※自分で取り組む課題が中心です。

**2** 話し合ったり、説明したりして、課題の解決に取り組みます。  
※友達やクラスのみならず、様々な人との関わり合って取り組む課題が中心です。

**3** この1時間で学習したことを活用して、課題を解決します。

▼ p.10～11

## 自らが学ぶ姿が見える

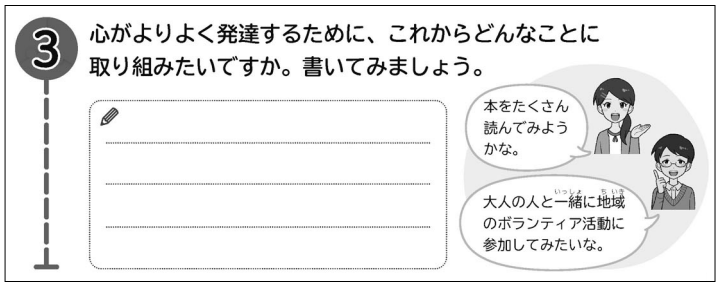
児童一人一人が興味・関心に応じて、学習に取り組むことができるようにしています。また、児童がさまざまに関わり合いながら、よりよい学びを生み出すことができるような問いかけや活動を設けています。

担任の先生は、進行役（ファシリテーター）となり、児童の学習を導いてくれます。

▼ p.28



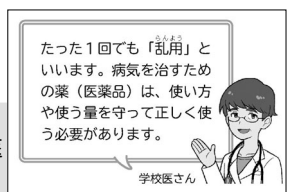
▲ p.14 養護教諭



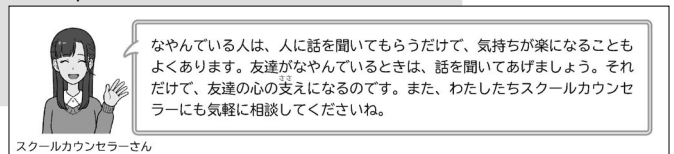
▲ p.11

保健室の先生（養護教諭）をはじめ、さまざまな専門家が、保健に関するさまざまな知識をサポートしてくれます。

p.75 ▶  
学校医



▼ p.22 スクールカウンセラー



## 2. 思考力・判断力・表現力が身に付く構成

▶ これからの予測困難な時代に対応できる力が身に付く構成になっています。

学習指導要領で重視されている「思考力・判断力・表現力」が育まれるように、学習活動を工夫しました。

## 3つのピースを完成させる学習の流れで、思考力・判断力・表現力を身に付ける

すべての時間において、1ページ単位の3つのピースを完成させる形式で構成しています。

「①自分で考える」→「②友達やみんなと考える」→「③身に付けたことを生かす」

という決まった学習の流れを繰り返すことで、着実に力を身に付けることができます。

### ①自分で考える

身近な生活にある課題などについて、自分で振り返ったり調べたりして進めていきます。

▲ p.51

### ②友達やみんなと考える

自分で考えたことをもとに、友達やみんなと話し合ったり、説明したりして進めていきます。

▲ p.52

### ③身に付けたことを生かす

身近な生活にある課題などに対して、①、②で学んだことを活用して解決していきます。

▲ p.53

◎ 「書くこと、書けること」を重視し、紙とデジタルどちらの教科書でも活用しやすくなるように作成しました。思考・判断・表現したことを書き残すことができるよう、記入するスペースを十分に確保しています。用紙は、書き込みやすい紙を使用しています。

# 3. 保健の学習が身近に、楽しい！ おもしろい！と思える構成

▶何気なく過ごしている日常の中で、さまざまな学びがあることを気づける構成になっています。

学びへの意欲が高まる資料を充実させました。現代的な健康課題も掲載しています。

## 「かがくの目」

興味・関心を高め、科学的な理解に結び付けられるよう、「見えないものを見える化」した資料を掲載しています。



▲ p.63

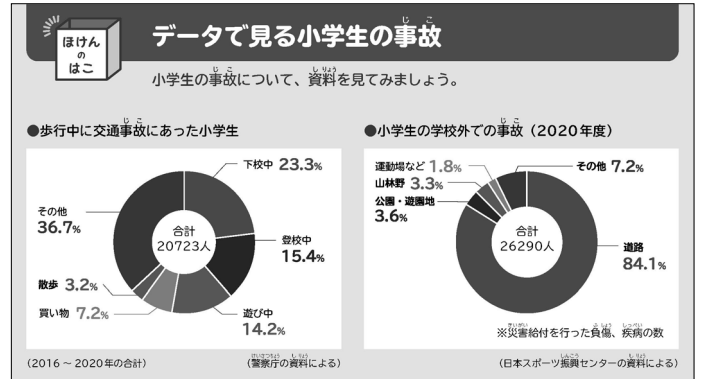


p.68 ▶

## 「ほけんのはこ」

各時間の最後に、1時間で学習した内容に関する資料を用意し、より学びを広げたり、深めたりすることができるようになっています。

▼ p.29



## 現代的な健康課題を豊富に掲載

心の健康では、「いじめ」について考えるページを掲載しています。

けがの防止では、「防犯・防災」について豊富な資料を使い、説明しています。

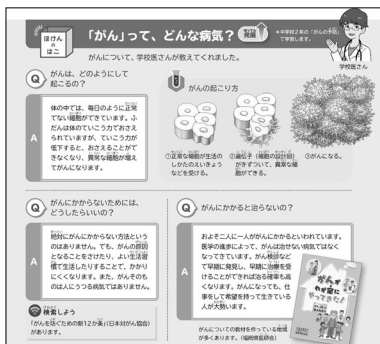
「がん教育」は、生活習慣病の項目で丁寧に扱っています。

▼ p.23 「いじめ」



◀ p.38 「防犯」

▼ p.44～45 「防災」



◀ p.61 「がん」



◀ p.57

新型コロナウイルス感染症についても、経験をもとに学習できるよう、取り上げています。

## ICT 活用への対応

ICT 機器を活用した学習に対応した工夫をしています。

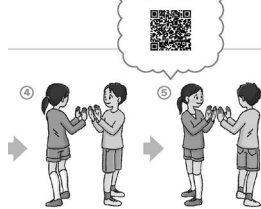
▼ p.35



このマークがあるところに、動画などのデジタルコンテンツがあります。

p.20 ▶

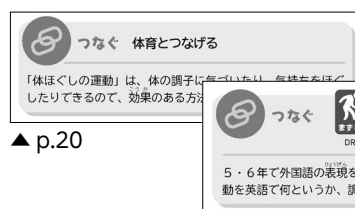
動画を見る



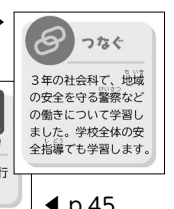
## 「つなぐ」

運動領域のつながりをはじめ、前後の学年や他教科の学習内容とのつながりを大切に、随所に関連を示した「つなぐ」を掲載しています。

▲ p.20



p.38 ▶



◀ p.45



## 教科書の特色一覧

<p>教育基本法との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教育基本法第二条に示された目標を達成するために、教科書の内容を適切に編成しています。</li> </ul>
<p>学習指導要領との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>内容</b> 学習指導要領に示されている方針、目標、内容、内容の取扱いに基づき、適切に内容を取り上げています。</li> <li>● <b>系統性</b> 随所に関連を示す「つなぐ」を設け、<b>保健について系統的に学習</b>ができるように配慮しています。</li> <li>● <b>運動領域との関連</b> 口絵や「つなぐ 体育とつなげる」などにより、<b>運動領域との関連</b>を図り、体育科の目標である健康の保持増進と体力の向上につながるようにしています。</li> <li>● <b>他教科との関連</b> 「つなぐ」により、<b>カリキュラム・マネジメントを実現しやすくなるよう、他教科との関連</b>を示しています。</li> <li>● <b>指導内容の明確化</b> 各章のとびらで、<b>学習内容の全体像</b>を示しています。また、各時間の最初のページに「学習の課題」を設け、その時間で学習する課題を明示しています。</li> <li>● <b>実践的な理解</b> 生活や経験を振り返ったり、実習など実践的な学習を随所に取り入れたりして、<b>健康・安全についての基礎的・基本的な内容を実践的に理解</b>することができるようにしています。</li> <li>● <b>課題解決</b> 各時間で学習課題を明示し、①→②→③の構成で、保健の見方・考え方を働かせながら、課題解決に向けて思考・判断するとともに、<b>他者に伝える（表現）力を養う</b>ことができるようにしています。</li> <li>● <b>主体的な学習</b> 各時間のはじめに「学習の進め方」を掲載し、見通しを持って学習できるようにしています。</li> <li>● <b>主体的な学習</b> すべての時間を「楽しく取り組める簡単な課題（授業の導入）→学習課題の確認→①→②→③」と順序立てて進めていく構成にし、学習の流れをわかりやすくしています。</li> <li>● <b>評価との関連</b> 各時間の最後に、自己評価欄を設定しています。自己評価欄は、授業支援システムなどでも活用できるように、二次元コードからアクセスできる「ふり返しシート」を用意しています。</li> <li>● <b>主体的な学習、協働</b> 「話し合ってみましょう」などと課題文で明示し、<b>主体的・対話的かつ協働的に活動する学習活動</b>が生まれやすくなるようにしています。</li> <li>● <b>食育との関連</b> 6年「生活習慣病の予防」で、食事の重要性を学習できるようにしています。</li> <li>● <b>道徳との関連</b> 自分自身に関すること、人との関わりに関することなど、道徳の内容について<b>保健学習全体を通して関連</b>を図ることができるようにしています。また、各章のとびらでは「つなぐ」で道徳科の各内容項目との関連を明示し、関連を図りやすくしています。</li> <li>● <b>情報教育</b> 情報教育を重視し、効果的な内容と適切な分量となるよう、専門家の指導のもと編修・作成しています。</li> <li>● <b>言語活動</b> 話し合う、表現する、記述するなどの<b>言語活動を随所に設けて</b>います。</li> <li>● <b>家庭・地域との連携</b> 「おうちで」「ちいきて」により、学習したことと<b>家庭・地域とその人々との連携に配慮</b>しています。</li> <li>● <b>選択学習</b> 「もっと！ 知りたい・調べたい」で、<b>児童が興味・関心に沿って選択的に学習</b>できるようにしています。</li> <li>● <b>キャリア教育</b> 各章のとびらに「仕事」として学習内容に関連する職業名を取り上げるほか、「地域のさまざまな保健活動」、地域の人々の健康を守る保健師へのインタビューや、専門家（キャラクター）が登場するなど、随所にキャリアについて考えられるようにしています。</li> </ul>
<p>創意・工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各時間の導入に、生活を振り返る、チェックする活動を設けたり、児童や教師などのキャラクターが語りかける形式を用いたりするなどして、<b>児童が親しみを持って主体的に学習に取り組む</b>ことができるようにしています。</li> <li>●「学習の進め方」と①、②、③の学習課題とは、<b>全学年でデザインや配色を統一し、学習に円滑に取り組める</b>ように配慮しています。</li> <li>●構成や活動内容、関連ページなど、<b>わかりやすいマーク</b>を用いて、児童が主体的に学習に取り組むことができるようにしています。</li> <li>●「かがくの目」を随所に設け、<b>科学的な認識を持てる</b>ようにしています。また、生活・行動の根拠が、単なる“しつけ”ではなく、科学的に認識できるように、論理的文章と科学的な資料で構成しています。</li> </ul>

<p>現代的な課題への対応、多様性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教科書の冒頭3ページを充て、<b>保健の学習がSDGsと関係していることを示しています。</b></li> <li>●イラストや図は、男子・女子などの性、外国にルーツをもつ子供などの多様性を尊重し、<b>人数や役割、配色などが固定的なイメージでの表現とならないよう、配慮して作成しています。</b></li> <li>●運動、食事、休養・睡眠はもとより、タブレット端末の使用、いじめの問題など、<b>児童の日常生活と密接に関連した問題や現代的な課題を積極的に取り上げています。</b></li> <li>●ICT機器やインターネットなどを使うときの健康や安全について、<b>保健ならではの視点で取り上げています。</b></li> <li>●<b>防犯、防災を重視し、学習内容と適切に関連させて4ページ設けています。</b></li> </ul>
<p>配列・分量、程度・資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各学年ともに、学習指導要領で示された<b>配当授業時数内で指導ができるように構成しています。</b></li> <li>●1単位時間見開き2つ(4ページ)を基本構成とし、「<b>学習の進め方</b>」を最初に明示するなど、<b>見通しを持って学習できるように配慮しています。</b></li> <li>●<b>児童の心身の発育・発達段階に適応し、身近な問題・自らの問題として取り組むことができるようにしています。</b></li> <li>●<b>資料は最新で信頼性のある適切なものを取り上げ、見やすく、活用しやすいように工夫しています。</b></li> </ul>
<p>特別支援教育・ユニバーサルデザインへの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学習課題や本文では、<b>書体に「UDデジタル教科書体」を使用し、誰もが読みやすいように、視認性を高めています。</b></li> <li>●書体や色、表現・配列について、<b>誰もが見やすく、わかりやすい内容となるように配慮しています。</b>また、<b>特別支援教育に配慮し、専門家による検証を行っています。</b></li> <li>●「<b>障害のある児童及び生徒のための教科用特定図書等の普及の促進等に関する法律(通称：教科書バリアフリー法)</b>」の趣旨に基づいて、<b>拡大教科書を発行します。</b></li> </ul>
<p>表記・表現、印刷・製本、環境への配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本文などで使用している書体や文字の大きさは、<b>児童の発達段階を考慮して選定しています。</b></li> <li>●製本はあじろ綴じて、特殊加工を施しており、<b>2年間の使用に耐えられるように堅牢に仕上げています。</b></li> <li>●<b>軽量で丈夫な紙を使用し、児童の負担にならない重さとなるようにしています。</b></li> <li>●<b>環境に配慮して作成された用紙、植物油インキを使用し、環境への負荷が小さい方式で印刷しています。</b></li> </ul>

## 2 対照表

図書の構成・内容		学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数	
5年	<b>1 心の健康</b>	保健領域 内容の取扱い(7)~(9)	p.7~24、85	小計3~4時間	4時間の場合、技能の実習などで1時間配当する。この場合、「2 けがの防止」は4時間扱い。
	1 心の発達		(1)ア(ア)、イ p.8~11、85	1	
	2 心と体のつながり		(1)ア(イ)、イ p.12~15	1	
	3 不安やなやみへの対処		(1)ア(ウ)、イ p.16~23、85	1	
	<b>2 けがの防止</b>		p.25~48、86	小計4~5時間	
	1 けがの発生		(2)ア(ア)、イ p.26~29、86	1	
	2 交通事故の防止		(2)ア(ア)、イ p.30~33	1	
	3 学校や地域でのけがの防止		(2)ア(ア)、イ p.34~39、44~45、86	1	
4 けがの手当	(2)ア(イ)、イ p.40~43、46~47	1			
6年	<b>3 病気の予防</b>	p.49~88	小計8時間	5時間の場合、防犯・防災などで1時間配当する。この場合、「1 心の健康」は3時間扱い。	
	1 病気の起こり方	(3)ア(ア)、イ p.50~53、87	1		
	2 病原体と病気	(3)ア(イ)、イ p.54~57、82、87	1		
	3 生活習慣病の予防①	(3)ア(ウ)、イ p.58~61、87~88	1		
	4 生活習慣病の予防②	(3)ア(ウ)、イ p.62~65	1		
	5 喫煙の害	(3)ア(エ)、イ p.66~69、83	1		
	6 飲酒の害	(3)ア(エ)、イ p.70~73、83	1		
	7 薬物乱用の害	(3)ア(エ)、イ p.74~77、83	1		
8 地域のさまざまな保健活動	(3)ア(オ)、イ p.78~81、86、88	1			
				5・6年 計16時間	

# 編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104 - 163	小学校	体育	保健	第5・6学年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※ 教 科 書 名		
224・学研	保健・511	新・みんなの保健5・6年		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
15	心って、どこにあるの？	1	(1) 心の健康 (1) ア 心の発達及び不安や悩みへの対処について理解するとともに、簡単な対処をすること。 (ア) 心は、いろいろな生活経験を通して、年齢に伴って発達すること。 (イ) 心と体には、密接な関係があること。	0.75
35	安全な行動をとるための留意点	2	(2) けがの防止 (2) ア けがの防止について理解するとともに、けがなどの簡単な手当をすること。 (ア) 交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には、周囲の危険に気付くこと、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが必要であること。	0.25
39	インターネットでトラブルにならないために	2	(2) けがの防止 (2) ア けがの防止について理解するとともに、けがなどの簡単な手当をすること。 (ア) 交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には、周囲の危険に気付くこと、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが必要であること。	0.5
43	熱中症の予防と手当	1	(2) けがの防止 (2) ア けがの防止について理解するとともに、けがなどの簡単な手当をすること。 (イ) けがなどの簡単な手当は、速やかに行う必要があること。 (3) 病気の予防 (3) ア 病気の予防について理解すること。 (ア) 病気は、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境が関わりあって起こること。	0.75
44～ 45	自然災害や緊急事態に備えて	1	(2) けがの防止 (2) ア けがの防止について理解するとともに、けがなどの簡単な手当をすること。 (ア) 交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には、周囲の危険に気付くこと、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが必要であること。	2.0
46～ 47	胸骨圧迫とAED	1	(2) けがの防止 (2) ア けがの防止について理解するとともに、けがなどの簡単な手当をすること。 (イ) けがなどの簡単な手当は、速やかに行う必要があること。	2.0
61	「がん」って、どんな病気？	1	(3) 病気の予防 (3) ア 病気の予防について理解すること。 (ウ) 生活習慣病など生活行動が主な要因となって起こる病気の予防には、適切な運動、栄養の偏りのない食事をとること、口腔の衛生を保つことなど、望ましい生活習慣を身に付ける必要があること。	0.75
65	プラークって、何？ 歯ブラシがない場合や、水が少ない場合はどうすればいいの？	2	(3) 病気の予防 (3) ア 病気の予防について理解すること。 (ウ) 生活習慣病など生活行動が主な要因となって起こる病気の予防には、適切な運動、栄養の偏りのない食事をとること、口腔の衛生を保つことなど、望ましい生活習慣を身に付ける必要があること。	0.25
69	たばこのけむりの中の有害物質と警告表示	2	(3) 病気の予防 (3) ア 病気の予防について理解すること。 (エ) 喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、健康を損なう原因となること。	0.75

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
72	飲酒を始めた年齢とアルコール依存症	2	(3) 病気の予防 (3) ア 病気の予防について理解すること。 (エ) 喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、健康を損なう原因となること。	0.25
73	飲酒などの経験	2	(3) 病気の予防 (3) ア 病気の予防について理解すること。 (エ) 喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、健康を損なう原因となること。	0.5
77	医薬品の正しい使い方	1	(3) 病気の予防 (3) ア 病気の予防について理解すること。 (エ) 喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、健康を損なう原因となること。	0.75
82	いろいろな病気	1	(3) 病気の予防 (3) ア 病気の予防について理解すること。 (ア) 病気は、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境が関わりあって起こること。 (ウ) 生活習慣病など生活行動が主な要因となって起こる病気の予防には、適切な運動、栄養の偏りのない食事をとること、口腔の衛生を保つことなど、望ましい生活習慣を身に付ける必要があること。	0.5
85	心と体のSOS	1	(1) 心の健康 (1) ア 心の発達及び不安や悩みへの対処について理解するとともに、簡単な対処をすること。 (ウ) 不安や悩みへの対処には、大人や友達に相談する、仲間と遊ぶ、運動をするなどいろいろな方法があること。	0.75
86	共に生きる社会に向けて	2	(2) けがの防止 (2) ア けがの防止について理解するとともに、けがなどの簡単な手当をすること。 (ア) 交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には、周囲の危険に気付くこと、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが必要であること。	1.0
87	世界で流行した感染症の歴史	2	(3) 病気の予防 (3) ア 病気の予防について理解すること。 (ア) 病気は、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境が関わりあって起こること。 (イ) 病原体が主な要因となって起こる病気の予防には、病原体が体に入るのを防ぐことや病原体に対する体の抵抗力を高めることが必要であること。	0.75
87	医学や保健の分野での世界的な活躍	2	(3) 病気の予防 (3) ア 病気の予防について理解すること。 (ア) 病気は、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境が関わりあって起こること。 (イ) 病原体が主な要因となって起こる病気の予防には、病原体が体に入るのを防ぐことや病原体に対する体の抵抗力を高めることが必要であること。 (ウ) 生活習慣病など生活行動が主な要因となって起こる病気の予防には、適切な運動、栄養の偏りのない食事をとること、口腔の衛生を保つことなど、望ましい生活習慣を身に付ける必要があること。	0.5
88	保健に関わる地域の施設について知ろう	2	(2) けがの防止 (2) ア けがの防止について理解するとともに、けがなどの簡単な手当をすること。 (ア) 交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には、周囲の危険に気付くこと、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが必要であること。 (3) 病気の予防 (3) ア 病気の予防について理解すること。 (オ) 地域では、保健に関わる様々な活動が行われていること。	0.75
合 計				13.75

(「類型」の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容  
2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容